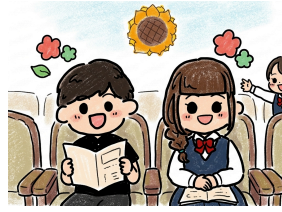


第9学年 学年だより

個を**活**かし
集団を**生**きる



令和8年05月15日(金)

板橋区立板橋第三中学校

第9学年だより 第05号

経験と知識から考えること

皆さんの趣味は何ですか？と聞かれたときに、自分の趣味について語れる人はどれくらいいるのでしょうか。一定以上の熱量をもってアツク語れる何かを、皆さんはもっていますか？

今回の学年だよりでは、私の趣味について少し話をさせてください。私の趣味の話と重ねて、今の皆さんの学校生活、今年度の皆さんの状況とを踏まえて、「個と集団」ということについて考えてほしいと思います。

ご存じの方も多いかもかもしれませんが、私にはいくつかの趣味があります。ディズニーが大好きで、よく舞浜へ行っているということを知っている人も多いでしょう。今回はディズニーの話……ではなく、趣味の内の一つである観劇の話です。

私はシェイクスピアのような古典演劇も好みですし、エンターテインメントに特化した明るい演劇も大好きです。様々なタイプの演劇がありますが、観劇を重ねる中でとりわけ『面白い！』と思う舞台を作る劇作家と出会いました。それは、野田秀樹さんです。

演劇を見る人であれば多くの人を知っている人ではありますが、知らない人も多くいるでしょう。私が初めて野田秀樹さんの演劇を見たのは10年近く前のことです。多くの話を下敷きにして社会問題に切り込みつつも、言葉遊びを多用しており楽しく見ることが出来る。楽しいばかりだけではなく、自分のこととして本当に考えさせられる要素が非常に多くちりばめられている作品ばかりです。

戯曲集（舞台上で演劇を行うために書かれた台本）をいくつか所持していますが、その戯曲からだけではイメージすらできないような演出や構成、間の作り方には「感服」という言葉がぴったりだと私は思っています。別段演劇に造詣が深いわけではない私ですらそう思わせるのだから、すごいことですね。

彼が扱うテーマは幅広く、また深い考えを演劇に落とし込んでいるように感じます。私の知らないことも非常に多く、観劇を終えた後には様々なことを調べ、また考えるということを繰り返しています。正確ではないにせよ、彼が演劇という方法を通して伝えたいことを受け取り、そこから知見を広げ、新たなことを考えるということが非常に楽しいのです。そこに答えはありませんが、突き詰めて考えるということが非常に重要だと考えています。

さて、ここからは今の皆さんの話です。現在は総合や学級活動の時間で、運動会の選手決めや修学旅行に向けて京都に関する探究活動を進めていますね。どの作業にも前向きに、明るく取り組んでいる姿が非常に印象的です。

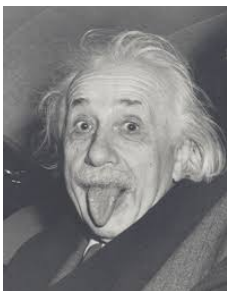
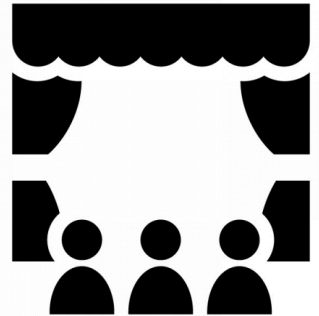
その中でも特に考えてほしいのは、探究活動についてです。皆さんはA4用紙2枚分に、調べたり考えたりした内容をまとめるというゴールに向けて、自分たちで学習方法を選び、探究学習を行っていますね。

テーマ設定についても、各自で行いました。自分たちの取り組みたいことを考えて、学習を進めています。恐らく多くの方が自分にとって比較的興味・関心が高いものを内容に絡めているのではないかと思います。

調査を進める中で、答えのない問題にたどり着く可能性も大いにあります。もしそういうときが来たとしても、知識を身に付けて知見を広げていくこと、考えるのをやめないことが重要なのかもしれませんね。

趣味が多い私としては、皆さんには楽しいと思えることに大いに挑戦してほしいと思っています。一方で、進路決定に向けた一年間であることも事実です。楽しいことばかりではいけないし、やらなくてはならないこともあるでしょう。

そんな皆さんに考えてほしい言葉があります。それは、かの有名なアインシュタインが残した言葉の一節です。



The only source of knowledge is experience.

9年生ともなれば、直訳することができるのではないのでしょうか。意識すると、「**知識とは唯一、経験から得られるものだ**」となります。経験から得た知識というものは、自分の中に一生残るものになるはずですよ。

進路決定に向けて学習を進める皆さんだからこそ、改めて自分の「楽しいと思えること」にも目を向けてみてほしいと思います。ただし、当然「楽しいと思えること」だけやればよいというわけではありません。
(裏面へ続く➡)

当然、すべきことをしたうえで楽しいことにも取り組むべきでしょう。今でいうと、多くの人にとっては勉強になるのではないのでしょうか。そこのバランス感覚が大事なのだと、私は思います。

学年だよりでは7年生のころから継続して、個の成長と集団の成長について述べていますね。今回の話の中にも、一人一人の成長のヒントがあるのではないのでしょうか。

今回の学年だよりでは、あえて「こうしてください!」「こうしてみましよう!」という提案や答えというものを明言しません。最後に、野球選手・指導者として著名な野村克也さんも座右の銘としていた、心理学者ウィリアム・ジェームズの言葉を掲載しておきます。自分なりに解釈し、考えてみてくださいね。

心が変われば、態度が変わる
態度が変われば、行動が変わる
行動が変われば、習慣が変わる
習慣が変われば、人格が変わる
人格が変われば、運命が変わる
運命が変われば、人生が変わる

来週以降の予定!

	1校時	2校時	3校時	4校時	給食	5校時	6校時	備考	下校予定時刻
18日(月)	①	②	③	④	○	⑤	⑥		15:50
19日(火)	①	②	③	④	○	⑤	⑥	RSタイム	15:50
20日(水)	①	②	③	④	○	⑤	/	耳鼻科検診 学びのエリア研修 部活動再登校 16:00~	14:50
21日(木)	①	②	③	④	○	⑤	⑥	内科検診 RSタイム	15:50
22日(金)	①	②	③	④	○	⑤	生	生徒総会⑥ 英語検定 16:00~	15:50

保護者の皆様へ ~ご協力ありがとうございます~

日頃より本校の教育活動にご理解・ご協力いただきありがとうございます。

先日より、各クラスで運動会の選手決めを行ったり、ダンスリーダーが集まって9年生のオリジナルダンスについて相談したり、運動会への取り組みが本格的に始まりました。最上級生として、中学校生活最後の運動会に臨む今年は、今まで以上の思い入れがあることと思います。そんな中、ダンス練習では、7年生と合同で授業を行い、7年生に振付を教えたそうです。9年生の何人かに練習の様子を聞いたところ、緊張する7年生が楽しく踊れるように自己紹介をしたり、間違えてもいいから楽しもうと、歌ったり声を出したりしながら積極的に自分たちが踊って見せたりして、じわじわとヴァイブスを上げながら一緒に練習に取り組んだそうです。ただ振付を教えるだけではなく、初めて踊ったり、先輩と交流したりする後輩の気持ちも汲みながら一緒に運動会を楽しんで作り上げていこうとしてくれたこと、素敵だなあと感じます。9年生にとって最後の運動会ですので、勝敗や順位にもこだわることあると思います。でも、それだけでなく、これから始まる全体練習でも、下級生の様子を気遣ったり、率先して動いたり声を掛けたりして、最上級生としての素敵な一面をたくさんの場面で見せ、学校全体のリーダーとして活躍してくれることを期待しています。ご家庭でも、出場種目や走順や、運動会に掛ける気持ちなどを聞いて、応援していただければ幸いです。

